

エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画に認定 ～サステナビリティを重視した環境配慮型工場～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野 透、以下 日東工業）は、2023 年 11 月 27 日に経済産業省より「エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）」の認定を受けました。

本制度は 2050 年にカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量が全体としてゼロになっている状態）の実現のため、民間企業による脱炭素化投資を加速させる取り組みを支援するものです。

今回の計画（※1）では、菊川工場での自家消費型の太陽光発電設備の設置、2024 年春に電気機器収納用キャビネット等を生産する新工場として稼働予定の瀬戸工場の投資などにより、目標年度である 2024 年度までに会社全体の炭素生産性を 32.3%向上させることを目標としています。瀬戸工場の投資のうち、作業者の高度な技能要求に対応した生産性・品質・安全に配慮した最先端仕様の塗装設備が認定の対象となりました。

日東工業は、これからも『地球の未来に「信頼と安心」を届ける企業グループへ』という長期ビジョンのもと、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

【参考資料】

※1. 2023 年 6 月 9 日に認定された計画（※2）に瀬戸工場分を追加したものとなります。

経済産業省 事業適応計画認定案件（エネルギー利用環境負荷低減事業適応）（番号 115）

https://www.meti.go.jp/policy/economy/kyosoryoku_kyoka/nintei_cn.html

※2. 詳細は下記 URL よりニュースリリースをご参照ください。

「エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画に認定～自家消費型の太陽光発電設備を設置～」

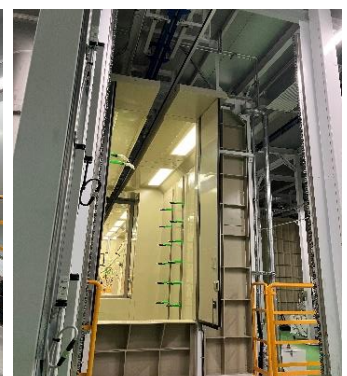
<https://www.nito.co.jp/news/uploads/2023/1337be6dd653fd09e0ecabda9d6646f4.pdf>



瀬戸工場



導入された塗装設備



以上